

## (2) 学習相談の充実

令和 6 年度から、主体的に学習に取り組む機会として、「学習相談」の時間を設定しています。参加の有無は生徒の主体性に任せています。学習時間、内容等を生徒が自分で決め、自分に合った方法で学習が進められるように支援しています。

令和 7 年度は、金曜日(5 時間で終了)の放課後、1 時間程度を学習相談の時間にしています。4月上旬、全クラスで「学習方略」について考えました。

○本時案

### (1) 本時のねらい

- ・普段の時間の使い方を見直し、家庭学習の時間を作り出す。
- ・様々な学習方略を理解し、今後の学習に生かすことができる。

### (2) 展開

学習活動	教師の指導・支援
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>めあて</b>  <b>「家庭での過ごし方を見直し、自分にあった勉強法を見つける」</b> </div>	
<p>&lt;導入【3分】&gt;            1. 勉強についての困り感があるか話し合う。               【3分】            2. 自分が行っている勉強法をワークシートに記入する。               【5分】  <b>3. 勉強法を共有する。(班【8分】→全体【8分】)</b>            4. 家に帰ってからの自分の時間の使い方を表に書き込み、家庭学習の時間がどのくらいあるか確認する。【8分】            5. 班で共有する。【5分】            6. 家庭学習ができそうな時間を見出す。【5分】            7. どんな学習方略で勉強できそうかをワークシートに書き、学習の目標を立て、授業の振り返りをする。【5分】</p>	<p>※「勉強ができる、できない、どっちがいい？」            ・自分事になるような声かけをする。</p> <p>・班や全体で共有することによって学習方略の幅を広げることができるようにする。            ・アウトプット(思い出す活動)を意識させるようにする。</p> <p>・詳しく記入しなくても、大体の時間を記入できるように伝える。</p> <p>・一週間の時間の使い方を客観的にみて、自分が多いのか少ないのかを自覚できるようにする。</p> <p>・大体の計画を立てることができるように伝える。</p> <p>・できるだけ多くの学習方略を試すことができるように伝える。</p>

# 学習ワークシート 1

( )年( )組 名前( )

友達のオススメ勉強法も聞いてメモしよう!



1. どんな方法で勉強しているか書いてみよう。

教えてもらった勉強法をやってみよう!



2. 家でどのように時間を使っているか書いてみよう。< ワークシート2 >

3. どんな勉強法で勉強していけそうか、目標を立てよう。

・勉強法を見つけることができた 5・4・3・2・1  
・計画を立てて勉強できそうだ 5・4・3・2・1

バッチリ 5 4 3 2 1 いまいち

- インプットだけでは学習効果は薄い。アウトプット(思い出す作業)することが記憶を長期に定着させる。  
→ 思い出す、覚えたことを書き出す、問題を解く、テストを受ける、口に出す、誰かに話す
- 白紙勉強法: ブツブツつぶやきながら、教えるフリをしながら書き出す
- 分散学習: 時間を分散して勉強する方が長期的な記憶の定着がよい。  
(例) 2時間続けて、ある範囲の英単語を勉強するよりも、今日は1時間、別の日に1時間、と分散して勉強した方が、時間が経ってテストしたときに、覚えている単語の数は多い。  
※一度にまとめて勉強するよりも、時間をあけて「くり返し学習する」ことが重要。くり返し情報を入力(覚える)、取り出す(確認する)ことで、脳に必要な情報だと伝えている、というイメージで。
- 精緻的質問と自己説明: 頭の中で自分と自分が質問や会話をしながら学習していく方法。
- インターリーピング: 似ているけれども異なった複数のスキルや勉強のトピックを交互に学習する方法。  
(例) 英語を勉強するときに、1日のうちに英文法→単語→リスニングとごちゃまぜに学ぶ。  
▲ブロック学習: 初日は英文法→2日目は単語→3日目はリスニングのように1つのテーマを集中的に学ぶ。  
(例) 社会の歴史を勉強するときに、「文化」など、何かしらの共通項でくくったできごとを集めて、相違点と類似点を考える。(インターリーピング)  
▲ブロック学習: 奈良時代→平安時代→鎌倉時代のように、時系列に沿って学ぶ。
- ◎「ブロック学習」で最初にある程度、基礎を作っておいて、それを「インターリーピング」を使って記憶に定着させていく、というやり方が良い。